



習志野市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」

人口減少社会が及ぼす地方の持続可能性に係る懸念が顕在化する中、国は地方の特性に即した人口減少克服・地方創生の課題解決を目指し「まち・ひと・しごと創生法」に基づく長期ビジョンと総合戦略を策定しました。地方公共団体においても、自らの判断と責任の下、地域の実情に応じた総合戦略の策定が求められています。

習志野市では、将来の人口減少及び急激な少子高齢化への対応・克服に向けて、**習志野市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」**の策定を進めてきました。

人口ビジョンの概要

◇目指すべき将来の人口像

平成53（2041）年に人口16万4千人以上を目指します。

◇実現に向けた基本方針

若者と子育て世代の定着・定住と、産み育てやすい環境づくりにより、現在まで増加を続けている人口をできるだけ維持し、将来の人口減少を最小限にとどめ、人を呼び込む、魅力あるくらしのできるまちを実現します。

総合戦略の概要

◆基本目標

- ①「安心して産み育てること、未来をひらく教育を受けることができるまちづくり」
- ②「魅力あるくらしのできる習志野へ“新しいひとの流れ”をつくるまちづくり」
- ③「しごとをつくり、“働きたい”をかなえるまちづくり」
- ④「未来に対応する地域をつくり、支え合い・つながりで安心なくらしを守るまちづくり」

◆総合戦略の特徴

◇子育て支援の充実

習志野版ネウボラによる妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実、新たな保育所等の誘致やこども園の整備と教育・保育施設の再編による待機児童の解消、乳幼児用プレーパークと交流スペースの設置、ひとり親家庭の学習支援、多彩なファミリー・サポート・センターメニューの実施（育児支援の他、本市独自の家事支援、ショートステイ、一時預かり）などに取り組みます。

◇市内に立地・隣接する大学との連携

住みたい、住み続けたいまちとして選ばれるため、単に住むだけでなく、豊かな「くらし」に繋がる付加価値を高めることを目指し、袖ヶ浦団地でのシェアハウス学生寮化や住民と学生の交流を市民と検討するワークショップの開催、魅力ある地域の交流拠点としての大久保地区公共施設再生など、市内に立地・隣接する大学と連携して地域課題の解決に向け取り組みます。

市民意見の反映

産業分野・学術分野・金融分野・労働分野・言論分野の代表や公募委員により構成する「習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会」での審議の他、意識調査の実施や意見交換会の開催等により、広く市民意見の聴取に努め、策定に取り組みしました。

- ・習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定懇話会の開催（第4回会議：10月26日開催予定）
- ・無作為抽出による市民意識調査の実施
- ・市内立地・隣接3大学の学生を対象とした意識調査の実施
- ・大学生を対象とした若者意見交換会の開催
- ・市内各産業界（商業・工業・サービス業・金融）との意見交換会の開催
- ・その他、市若手職員対象の意識調査や市議会議員からの提案募集等を実施

今後の日程

平成27年9月18日～10月18日 パブリックコメントの実施（実施済）
平成27年10月30日 人口ビジョン・総合戦略策定



【お問い合わせ先】

企画政策部企画政策課 越川・伊藤・柴垣

電話：047-453-9222